





3月は少しずつ春の気配が感じられます。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で様々な活動が中止になってしまいました。そんな中ですが、学年末に向かって最終段階に入りました。

～たいへんでした。よくがんばりました～

お疲れさま

「お疲れさま」といえば、がんばりや苦勞をねぎらう言葉です。この言葉を一年を走り抜けた自分自身にも、かけてあげてほしいのです。

みなさんの体と心は、一年でたくさん動いたことでしょう。体を動かすと疲れたり、筋肉痛になったりします。でも、そうして強い体がつくられていくのです。心も同じです。喜んだり、悲しんだり、怒ったり…。たくさん動いた分、育つもの。それに疲れるものです。春休みには「お疲れさま」と自分に声をかけ、体も心もリラックスさせてあげましょう。

新型コロナウイルス感染症の心配は続きます。でも「未来はきっと良い方向へ」向かうと信じてすごしてていきたいです。

つながりは、やさしいことば



今まであたりまえにできたことができなくなったとき、「ああ、大切だったんだー」って、感じることはありませんか？

この一年はコロナでできないことがたくさんありました。学校でみんなと会えなかったり、距離をいつも開けていなくちゃいけなかったり。そんな中で「つながる」ことの大切さをつくづく感じていたように思います。

直接会えなくても、くっつけなくても、つながることができるのは、私たちにことばがあるから。だからことばはやさしく、あったかいものにしたいですね。

次の学年でも、みなさんがやさしいことばとともに過ごせますように。

with コロナの今だからこそ。

1年間、新型コロナウイルス感染症の心配な中、お子さんの登校にご協力いただきありがとうございました。

保健室では、感染拡大防止に努める中、保護者の方から、例えば「消毒を強化してほしい」、「手洗いの充実こそが大切で、消毒のしすぎは本来の抵抗力を弱めてしまうのでは？」など、様々なご意見をいただきました。子どもたちを感染から守るために、良い方法を模索し続けた1年になりました。一定のガイドラインを設けながらも、お子さんの状況で個別対応を検討していく場面もありました。学校では、国や県、町からの指示をもとに、良いと思われることをさせていただき姿勢は変わらず続けていきます。

情報が多く、何が正解か解明されていないこともあります。ご心配は続きますが児童の健康を共に守っていかれますよう、これからもご協力をお願いします。

新しい学年でも、健康な生活をおくれますように・・・